



雑誌月間

Governor's Message

予想を上回る参加者があった地区大会

国際ロータリー第2750地区 2011-12年度 ガバナー 片倉 章雄

2月22・23日の両日にわたってザ・プリンス パークタワー東京で開催された今年度の地区大会は、数多くのロータリアンの皆さまにご参加いただき盛会のうちに終了しました。実りある内容であったことはもちろんですが、ご出席くださった会員の数が予想を大きく上回ったこと、そして途中でお帰りになる方も少なく、最後の懇親会まで残って大会を楽しんでいただけたことが、私にとっては何よりも嬉しいことでした。

今年度の始まる少し前の3月11日、東日本大震災という未曾有の被害をもたらした災害が発生し、当地区の会員の皆さまにも様々な形で支援活動にご協力いただきました。改めてお礼申し上げる次第でございます。私の同期で、福島県のガバナーを務めている方からうかがったのですが、福島でも特に被害の大きかった地区にある3つのロータリークラブが地元の復興支援活動を行っていたところ、一緒になってその活動に参加されていた9人の方が、ロータリーの理念に賛同して入会してくださった、ということでした。純粋な心でのぞむ奉仕の後の崇高な気持、自ら汗を流して活動した後の連帯感と親睦の気持。そこにロータリー本来の理念があり、喜びがあります。被災地の復興はまだまだかかります。時間も費用も労力も必要とされています。私たちも、さらなる復興支援の活動を続けていかなければなりませんし、またそれを続けることが会員増強にもつながると今大会を通じて考えさせられました。

この大会のハイライトは昨年地区大会以降に入会された新会員(180名登録)の紹介、新世代4人の青年の主張、そして独学で建築を学ばれたという安藤忠雄さんの軽妙洒脱な講演も、長唄の鳥羽屋里長さんと囃子方の堅田喜三久さんのお二人の人間国宝による勧進帳も素晴らしいものでした。また、今年度は東日本大震災の影響で、予定していた日韓親善会議が中止となりましたが、本年8月31日(金)・9月1日(土)にグランドプリンスホテル高輪「飛天の間」にて行われることが再確認され、また本大会には李 東建(LEE Dong Kurn)氏がRI会長代理として来日していただき、大会終了後に日韓親睦会が開かれ、RI第3650地区文ガバナーを始め23人のロータリアンと共に楽しい一刻を過ごし、最後に第3650地区高成大ガバナー・エレクトと当地区佐久間崇源ガバナー・エレクトが両国の一層の親睦を誓い合って固い握手をされました。どうか大勢の仲間が参加してこの大会を盛り上げていただきたいと思います。



地区大会も無事終了し、今年度も残すところあと3か月となりましたが、皆さんのクラブ夫々で会員増強そして期末に見られる退会がありませんように是非ご協力ご努力を頂きますようお願いいたします。

INDEX ※[\[3\]](#)～[\[10\]](#)は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

- | | | |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1 ガバナーメッセージ | 5 山の手東グループ 活動通信 | 9 広報委員会 活動通信 |
| 2 地区チーム研修セミナー/PETS 開催報告 | 6 多摩南グループ 活動通信 | 10 米山記念奨学委員会 活動通信 |
| 3 地区行事日程 | 7 会員基盤委員会 活動通信 | 11 寄付報告/文庫通信/物故 |
| 4 千代田グループ 活動通信 | 8 奉仕プログラム委員会 活動通信 | 12 出席報告/編集後記 |

地区チーム研修セミナー 開催報告

2012-13年度 地区代表幹事 道面 朋久（東京目黒RC）

2012年2月13日、雅叙園において地区チーム研修が開催されました。本年7月からの佐久間ガバナー年度に向けて、チームが丸となってクラブを支援すべく次期地区役員、各委員長、委員が出席し、研修を受けました。

佐久間ガバナー・エレクトの点鐘で始まり、片倉ガバナーより、厳しい年ではあるが、結束して難局をわたりきり、リーダー地区として楽しい1年になってほしいとのご挨拶がありました。引き続き佐久間ガバナー・エレクトの来賓紹介に続き、国際協議会の報告が、写真を交えてありました。



佐久間ガバナー・エレクト

次年度RI会長 田中作次氏の「平和はどのように定義されるにせよ、それは奉仕を通じて達成できる」と言うお話や、STRATEGICを長期と言う訳から戦略に今年から変えること、RI戦略3つの優先項目と6つの重点目標の説明がなされました。さらにRI会長のカルヤン・パネルジー氏の「ガバナーはクラブを支援するためにある」と言うメッセージが紹介されました。その後、田中作次次年度RI会長のメッセージビデオが紹介されました。その中で田中作次次年度RI会長は、平和への強い思いを語られていました。

次に、辰野次期研修リーダーが、地区役員の役割と責務について語られ、この地区チーム研修が、佐久間年度への期待をこめた結団式であると述べられました。

RIの構成は、まずクラブであり、RIとの間に地区があり、役割としては、クラブがRIの細則に従って運営されるよう、ガバナーが全責任を持って地区チーム全員でクラブの支援を実施することにあると述べられました。その後、徳永次期地区財務副委員長から地区一般会計予算案についての説明がなされました。

次に、RIコーディネータ、坂本パスト・ガバナーよりご挨拶があり、RIが2000年以後5年ごとに出してくるテーマについてのお話がありました。

コーヒブレイクのあと、次年度地区チーム、クラブサポートについて次年度ガバナー補佐より説明があり、各常設委員長より、活動方針についての説明がありました。



その後懇親会では、佐久間ガバナー・エレクトの挨拶、舟木ガバナー・ノミニーの乾杯の後、楽しい懇親会が開かれ、その途中で各常設委員長が各委員を紹介するなど、和気藹々の元に次年度に向けて絆を一層強くして閉会となりました。

会長エレクト研修セミナー（PETS）開催報告

2012-13年度 地区副幹事 渡辺 美智子（東京六本木RC）

2012-13年度『会長エレクト研修セミナー』（PETS）が、2012年3月1日（木）より2日間に渡り、「目黒雅叙園」で開催されました。

第一日目 片倉ガバナーの挨拶に続き、佐久間ガバナー・エレクトより国際協議の模様が豊富な写真と共に報告されました。次年度RIテーマは「Peace through Service」、30年ぶりに日本から選任された田中作次RI会長エレクトの思いを熱く語られました。

続いて、次年度地区の方針・重点目標・地区組織の発表。まずは「ロータリーを楽しもう」と会長エレクトの皆様へ語り、地区はクラブ支援を唯一の目的としていると力強く語り、活力あるクラブ作りに励んで頂きたいと温かく激励されました。



辰野次期研修リーダーからは「クラブ会長の役割と責務」と題しお話を頂きました。

その後、3名のクラブ会長経験者による体験談は、非常に参考になるプログラムでした。

また、2013年度より大きく変わる「ロータリー財団の説明」、「米山記念奨学事業について」、「地区の広報活動について」をテーマに地区の担当委員長より発表があり、中身の濃いプログラムで一日目を終了いたしました。

懇親会では、舟木いさ子ガバナー・ノミニーより乾杯のご挨拶を頂き、各グループのガバナー補佐より会長エレクトのご紹介も交え、和やかに懇親を深めて頂きました。

第2日目 会長エレクトの皆様は「会長の役割」「会員増強・維持」「ロータリーの奉仕活動」の3つのテーマ毎に分かれ、各テーマ2名、計6名の経験豊富な進行役と活発な意見交換や質疑がなされ、大変有意義な「テーマ別意見交換会」となりました。



全体会議では3名の会長エレクトの皆様へ「PETSに参加して」と題し、お話を頂きました。最後に佐久間ガバナー・エレクトよりお一人、お一人に修了証が授与され、2日間の研修を終え、期待と自信に満ち、晴れやかな笑顔で修了証を手に入れました。

2011-12年度 地区行事日程 (4月-5月-6月)

4月 6日 (金)	17:00 ~	東京町田RC 創立50周年記念式典	ホテル ザ・エルシィ町田
4月11日 (水)		2012-13 地区協議会	目黒雅叙園
4月13日 (金)	14:30 ~ 19:30	R財団部門全体研修会	ハイアットリージェンシー東京B1「白鳳」
4月16日 (月)	16:00 ~ 20:00	東京武蔵国分寺RC 創立20周年記念式典	パレスホテル立川 4階ローズルーム
4月18日 (水)	11:30 ~ 13:30	東京日本橋西RC 創立25周年記念例会	ロイヤルパークホテル2階「有明の間」
4月18日 (水)	16:00 ~ 20:00	2012学年度米山カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション	京王プラザホテル新宿
4月20日 (金)	15:00 ~ 17:00	第10回 復興支援地区委員会	三基商事(株)東京支店第2ビル
4月20日 (金)	17:00 ~ 21:00	東京蒲田RC 創立25周年記念式典	東京會館
4月23日 (月)		RLI PartⅢ	国立オリンピック記念青少年総合センター
4月24日 (火)	14:00 ~ 17:00	ロータリー財団補助金セミナー	JICA地球ひろば

5月 6日 (日)		2012年 RI 国際大会 (～9日)	タイ バンコク
5月12日 (土)	～13日 (日)	青少年交換メイキャンプ	
5月14日 (月)	14:00 ~	2011-12 第31回 ゴルフ決勝 (ホスト:東京世田谷南RC) プレースタート 8:00頃	レイクウッドカントリークラブ
5月19日 (土)	10:30 ~ 15:25	東京山の手RC 新世代委員会「TOGETHERS」	世田谷区民会館
5月19日 (土)	午後	2011-12 ローターアクト地区年次大会	立川市民会館 (アミュー立川)
5月26日 (土)	14:30 ~ 18:30	第2回 外国人留学生就職相談会	新宿区立産業会館 (BIZ新宿)
5月27日 (日)	13:00 ~ 20:00	来日生修了式/派遣激励会/派遣・来日歓送迎会	オリンピック青少年センター
5月28日 (月)		地区会員増強セミナー	

6月 1日 (金)	18:00 ~	多摩東Gグループ協議会	
6月 3日 (日)	13:00 ~ 17:00	青少年交換派遣募集説明会	オリンピック青少年センター
6月 5日 (火)	14:00 ~ 17:00	第一回 ロータリー財団セミナー	JICA地球ひろば
6月 9日 (土)	15:00 ~ 17:30	インターアクト指導者研修会	東京高等学校
6月14日 (木)		RLI 卒後コース	国立オリンピック記念青少年総合センター
6月15日 (金)	15:00 ~	第4回 クラブ会長・幹事会及び地区役員・委員会合同会議/懇親会	ロイヤルパークホテル
6月19日 (火)	18:00 ~	2011-12 第6回 多摩東グループ協議会	未定
6月22日 (金)	13:00 ~ 15:00	米山記念奨学委員会 2013年度奨学生採用説明会	ガバナー事務所

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。 ★青文字は佐久間年度の行事予定です。

千代田グループ 活動通信

東日本復興支援プロジェクト

東京南RC 奉仕活動統括委員長 手貝 哲夫

支援先：「岩手県立宮古水産高等学校」

大震災により、壊滅的な被害を受けた岩手県の沿岸漁業は、高齢で零細な漁家が多いことから、存続の危機に瀕することになった。水産高校としては、漁業の復興に携わり、地域の漁業を担う人材を育成することが、今こそ重要な責務となった。

同校は被災により、漁業の担い手育成に必要な教育実習施設・船舶の大半を失い、当クラブに実習船とダイビング実習用コンプレッサー支援の申し出があった。当クラブは被災地の宮古RCと共同して下記プロジェクトを立ち上げ、海外のロータリークラブの協力も得て、3月下旬から4月下旬に実現する見込みとなった。

「教育実習用舟艇2隻寄贈プロジェクト(日台香港マッチング・グラント)」 資金総額 US \$44,860. 台湾・香港13クラブが協力。「ダイビング実習用コンプレッサー寄贈プロジェクト」資金総額 2,378千円。養殖資源・海中環境調査の為にダイビング実習に使用。



釜石市の小学校へ運動用具の支援

東京新橋RC 幹事 今泉 有仁

東京新橋RCは、昨年6月震災支援のためのプロジェクトチームを12名で立ち上げました。更に姉妹クラブのホノルルRCからも支援の申し出があり、共同で支援する事とし、7月に5名のメンバーが釜石市を訪問、現地の釜石東RCと支援方法等について協議しました。

結果、支援対象を鵜住居・唐丹の2小学校とし、両校から実状を聞き、運動用具を支援することに決定。東日本震災復興基金、並びに地区支援金を申請し承認されました。

11月に6名の会員が現地へ赴き、釜石東RCと一緒に市教育委員会、鵜住居(うのすまい)小学校、唐丹(とう)小学校を訪問、運動用具一式の目録贈呈式を行ないました。

両校からは、子供たちの体力づくりに役立つと大変喜んで戴き、唐丹小学校では生徒代表による謝辞と、生徒全員による感謝の合唱が披露されました。

贈呈式の模様は、岩手日報、復興釜石新聞の2紙に大きく取り上げられ、ロータリークラブの奉仕活動を、多くの方々に知ってもらうことができました。



憩いの場の建設及び松原復興の松苗床の保管場所の設置

東京赤坂RC 社会奉仕委員長 尾関 武男

合同支援プロジェクト

■主催クラブ：東京赤坂ロータリークラブ
■共催クラブ：東京南RC/東京西RC/東京中央RC/東京中央新RC
■サポートクラブ（R12520地区）：陸前高田RC/水沢東RC

経緯 東京赤坂RCが去る2011年6月18日に岩手県陸前高田の被災地に有志8名程で視察にまいりました。報道だけでは分からない現場の厳しい空気を感じました。この眼で状況を確認し被災者の声に耳を傾け、それを踏まえてクラブとしてどんな支援活動が出来るか…この事が今般の合同支援プロジェクトに発展いたしました。

支援内容 この地域のシンボリックな高田松原が大震災による大津波により、流出してしまいました。これを再生することは市民の最も願うところであります。高田松原は特にお年寄りにとっては、憩いの場として親しまれてきました。被災し高田松原がなくなった現在、仮設住宅に入っているお年寄りは行き場をなくし、閉じこもった生活をしているとのこと。こういった状況と松原再生を鑑み、お年寄りの心のケアとしての「憩いの場」を出来る限り早く設けることとし、さらに松原復興の一つとして松の苗木の苗床として保管場所を建設する。

実施時期 開始日 2011年11月10日～予定完了日 2012年4月30日



避難所での懇談会(写真左) / 大津波に負けず陸前高田松原に松が一本残りました。(写真右)

タイムリーな復興支援をめざして

東京みなとRC 幹事 高添 俊幸

まだまだ降雪が続く2月10日、会津若松市役所の敷地内に仮設された福島県双葉郡大熊町役場会津若松出張所に高取会長以下4名で行って来ました。

訪問の目的は、本年度の我がクラブの重点目標である「東日本震災の継続支援」の1つで、大熊町の皆さんにタイムリーな支援をしたいと考え、町役場の方々と相談を重ねた結果、除雪機を寄贈することとし、その寄贈式への出席でした。当日はご多忙中にも関わらず鈴木副町長にも出席をいただき大熊町の現状と復興状況の説明の後、メーカー立会いで、試運転も行い成功裏に寄贈式を終えました。

本プロジェクトは、東日本震災復興基金日本委員会からの補助金と第2750地区東日本大震災復興支援プロジェクト地区支援金Aと合わせて実施できました。関係者の方々のご協力に心より感謝いたします。



山の手東グループ 活動通信

来年にクラブ創立50年を迎えるにあたって

東京城西RC 会長 皆川 明良

私どものクラブは、昭和38年5月に創立いたしましたので、来年は創立50年の記念すべき年を迎えることになります。予定では、平成25年4月24日に式典をおこなう予定でございますので、皆様の創立50周年の記念式典のご参加をお待ち申し上げております。

さて、今年度は、50周年記念事業のための準備を毎月定期的におこないつつ、東日本で被災された方々への支援活動、カンボジア井戸掘削の支援、老人ホームへの奉仕、杉並区立中学校などの学童への奉仕事業を行ってまいりました。

震災関係では12月に宮城県気仙沼地区で活躍されているボランティア団体の車両に対して約20台分のスタッドレスタイヤを支援しました。過日、我々が現地を訪れた際には、「タイヤ装着した翌日から降雪があったので、グッドタイミングでした。」と大変感謝されました。また今月には岩手県大槌町の教育委員会の要請により、現地の仮設小中学校の校庭に鉄棒を設置、並びに給



食センターで用いる食器等の支給などを用意いたしております。

国際奉仕事業では、2月にカンボジア現地に伺い、15基の井戸の掘削援助をしてまいりました。カンボジアでの当クラブがおこなった井戸掘削は、これで累計35基となりますが、50周年までには、なんとか50基設置したいと思っております。

また青少年支援では、杉並区の中・高校へ訪問し、生徒諸君と社会人としての仕事・行き方などを話し合っております。また高校生のインターンシップへの協力もしております。

50周年記念事業では、大学生のボランティアグループ活動を評価するコンペティションも計画しております。この他にも老人ホームの清掃、合唱による慰問など各種活動を積極的に行っております。今後も私どもの東京城西ロータリークラブのご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



東京恵比寿ロータリークラブ 活動

東京恵比寿RC 奉仕プロジェクト担当理事 児嶋 三枝

東京恵比寿RCでは、今年度さまざまな活動を行っております。

【チャリティーコンサート】2012年2月28日、東日本

大震災復興支援とポリオ撲滅の願いを込めて、日野皓正カルテットによるチャリティーコンサートを開催しました。満席の会場は外の寒さを忘れるほどの熱気に包まれ、エネルギッシュで力強く又優しく、全体の調和を図りながら展開されていく曲の数々に心の底まで酔いしれました。今年度のクラブのテーマは、`和をもってつなごうロータリーの輪、`ですが、大きな和(輪)が繋がれた素晴らしいコンサートでした。収益金の半分は地区のロータリー財団ポリオプラス委員会に贈呈させていただき、残りの半分は、地区支援金と当クラブの震災復興支援積立金を加え、南相馬RCを通じて、福島県立小高工業高等学校の4月よりスタートする仮設校舎の教材・備品購入資金に充てることになっております。



【ネパールプロジェクト】バイオガストイレの設置活動を継続して行っています。さらに、数年にわたるバイオガストイレの設置や水道建設により村々の生活環境は大きく改善され、薪拾いや水汲みから解放された母親、子供達には、教育にかけける時間や意識が生まれたので、小さな村々の自立の第1歩として、本年度は、幼児教室と自治組織の集会所を兼ねた校舎を建設しています。

【15歳のハローワーク】2012年2月16日、東京女学館中学校3年生を対象に、クラブの適任者を講師として個別講演・質疑応答を行うキャリアガイダンスを実施しました。

【ミニコンサート】2011年11月12日、社会福祉法人パールを慰問し、松島トモ子会員のミニコンサートを開催しました。懐かしい唱歌・童謡を中心としたプログラムに、歌の輪が広がりました。

【薬物乱用防止教室】2012年3月7日、広尾中学校3年生を対象に、リーフレットを配布し、DVDを視聴。続いて講義と質疑応答を行いました。

【交通安全活動】地元のニーズに応え、警察と教育委員会のご指導のもと、加計塚小学校付近の横断歩道で、下校時の児童の交通安全確認と指導を行っております。

多摩南グループ 活動通信

国際奉仕交流

東京八王子東RC 会長 馬場 れい子

片倉ガバナー年度の東京八王子東RCは、会員数が圧倒的に減少している中で一昨年30周年を迎え、伝統あるクラブを守り繋げていこうとの思いで会長・幹事が心を一つにしております。会員も全員協力的で、特に理事の方々の一人何役もこなす見事な協力体制を得て、定例の事業をこなす一方、長年の水プロジェクトで親交の深いタイ・サラブリーロータリークラブと姉妹締結を実現しました。木村正之名誉会員が仲立ちしていることもあり、両クラブは本当に仲の良いまるで親戚のようなクラブになっています。ここに本来のロータリー国際交流を見る思いです。東日本大震災の支援を受けた直後、今度はタイの水災害でこちらもいち早く支援を行い、まるでドラマのような連携プレーになりました。

その他にもう一つ現在進行形ですが、韓国第3650地区の文ガバナーの南インド水支援やチベット難民児童

への医療支援事業に、合同プロジェクト参加をしています。3月はインドに行き、実態調査と資金贈呈をします。東日本大震災前からの計画であり、我が国の震災支援をする中での国際奉仕なので、今年度はクラブ会費のフル稼働になりました。会員の皆さんにはまことに次から次の心強いクラブ奉仕、国際奉仕をしていただいております。



発達障害児親子との交流

東京八王子南RC 幹事 長谷部 良幸

感性が豊か、好奇心旺盛であったり、なかなか言葉が出てこない子供。じっとしている事が苦手、急に大声を出したりする子供。このような症状が強く見られる場合、外見は普通の健常児に見える子供が、内面に発達障害の凸凹を持つ場合があります。このような発達障害児に対してはまだ社会的な認識が浅いという現状です。2011年9月23日、発達障害児親子を支援するグループ「かたつむりの会」との共催で写真家酒井貴子さんの提唱する「写真セラピー」を八王子市郊外の「ゆうやけ小やけふれあいの里」で開催しました。親子と当クラブ会員がペアを組み、デジカメを持って園内を散策し好きな写真を撮り、後日この写真を台紙に貼りアルバム作りをしました。親子、孫ほど年齢の離れた会員と子

供達はすぐに打ち解けて写真を撮り合い、自由時間には会員の方が童心に返り、子供達とドッジボールに興じる場面もありました。解散する時には「次はいつやるの!」と子供達から声を掛けられ、グループの代表の方からも「子供達が今までにない生き生きした表情だった。」と喜びの評価を戴きました。



現在の献血例会に至るまで

東京飛火野RC 会長 渡邊 良優

当クラブでは、親クラブである「東京日野ロータリークラブ」と合同で「献血例会」と銘打って献血を奉仕活動の一つとして20年来継続してまいりました。献血車両を確保するためには、最低必要人員(献血者)が居らねばならず、会員・社員等、関係者のみでは献血者数を確保できないため、不特定多数の方に協力をお願いせねばならず、呼びかけるには会場が重要なポイントとなります。現会場である「高幡不動尊駐車場」で、献血者が減少して来た時、某スーパーマーケットの駐車場に移動してみました。隣に某大学の寮が在り、予定外に多くの学生が献血に参加してくれ助かった事が有ります。次回もその寮に事前周知をした上で開催したのですが、寮生も不特定多数の一部であ

る事がわかり、より多くの人が集まる「高幡不動尊駐車場」に会場を戻しました。

年齢による採血不適格者が増加したり、海外出張後の為献血が出来なかったり、等々の事情により献血例会の継続も難しい局面を迎えております。



会員基盤委員会 活動通信

会員基盤委員会の現況について

会員基盤委員会 委員長 中島 康裕（東京中央RC）

今期は会員基盤の充実強化とクラブの活性化を目標に取り組んでまいりました。

前期のスタートダッシュが勝負を分けることを理解していただいた結果、各クラブの皆様が会員増強・維持に積極的に取り組んでいただき、入会者169名、退会者152名、純増17名、会員維持率96.6%という好結果(2011年12月末)となっております。

(ガバナー月信2月号p8)

問題は後半戦にあります。前年度は12月末純増21名から2011年7月1日には、入会者402名、退会者490名と88名の純減となっております。今年度は最終ゴールに向け会員減少を止め反転攻勢をかけるきっかけを掴むよう皆様の更なるご努力をお願いいたします。

(「年度末の退会を防ぐために」(平成12年3月)の添付資料参照)

ては特に将来の懸念事項となっております。青少年プログラム(ローターアクト、インターアクト、RYLA、青少年交換)で活躍した経験があり会員候補になりうる人々をどのように探し、勧誘の条件を整えることが重要です。また、元会員に働きかけ再入会を促すことも必要です。

2)会員の性別 女性の職業人の割合を増やす(現状4%)

女性会員が活動しやすく魅力的なクラブにするための方策を検討し世界平均の15%に近づけてゆきたい。

3)例会の時間帯 現状では90%が昼例会(11:00~13:59)

朝、夜(夕)例会の割合を増やし昼の業務多忙による欠席を回避してゆくことを目指す。

RI地域別会員増強・維持3年計画

RI理事会は、2011年9月の会合において地域別に会員増強・維持の3年計画を立案するという構想を承認しました。これはクラブや地域ごとに大きな違いが見られることを認識し、また、目標や方策の立案と活動に一貫性を持たせることを意図した決定です。

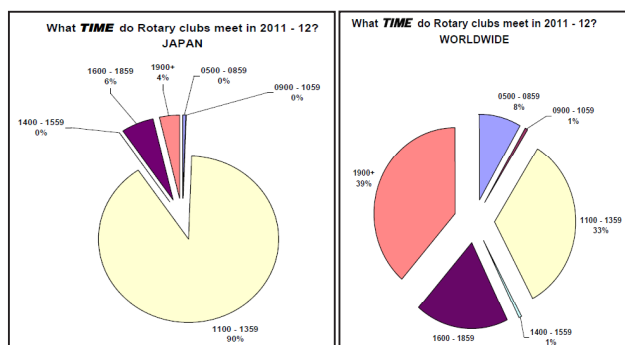
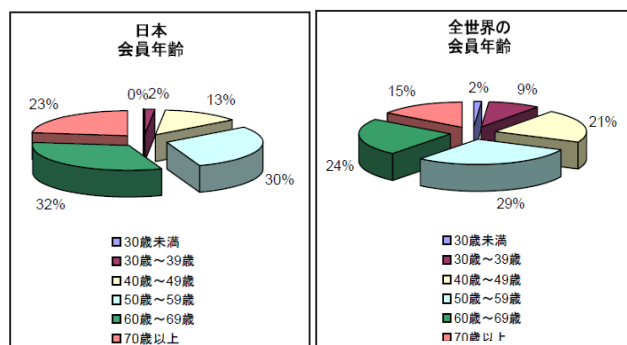
そして2015年6月30日までに全世界で会員数を130万人にするという目標も設定しました。これは2012-13年度からの3年間に3%の純増を目指すものです。

本件については、RI会員増強・維持委員会、ゾーン・コーディネーター、ガバナー・エレクト、次期地区会員委員会に於いて鋭意検討中です。

戦略計画では、ロータリーの未来について、5年～10年後のクラブを思い描き時代に即した存在であり続ける必要性を提起しています。今期の主な検討課題は次のとおり

1)会員の年齢 40歳以下2%、60歳以上55%

平均年齢は60歳を超えており、若いロータリアンの割合が低く、高齢化の進む日本のロータリーとし



4)クラブ運営のコスト

会費と諸経費について世界的には負担の見直しが進んでおり検討課題、特に若手会員については負担がかからない範囲に圧縮する方策も検討する。

クラブ拡大への挑戦

試験的プログラムへの対応の重要性とともに、Eクラブの設立準備は、ネット社会にどう向き合っゆくかの大切な選択肢と思われます。現在、米山学友会のネットワークを結ぶ米山 Eクラブ(仮称)の構想を進めており、今期中に申請する予定です。

さて、次年度は日本から3人目の田中作次 RI会長が就任されます。この会員増強・維持3年計画の初年度にあたり、強力に支援してゆくためにも、今期会員基盤の強化にご尽力いただいた各クラブ会長はじめ増強メンバーの皆様にはフォロー役をお願いいたします。

健全なクラブ運営、奉仕活動の充実のため、会員増強・維持は必須の条件です。

会員増強に王道はありません。皆様の増強目標に向けての情熱と行動力に期待しております。

奉仕プログラム委員会 活動通信

社会奉仕委員会 活動報告

社会奉仕委員会 委員長 福原 有一（東京銀座RC）



社会奉仕委員会は、地域社会奉仕委員会と環境保全委員会の2つの活動を推進していますが、今回は環境保全委員会の活動を報告いたします。

環境保全の必要性

人間が少しでも自然に手を加えれば、自然・環境への負担が発生しますが、本来自然は自己修復性を持っていて、ある程度の負担までは短期間で修復可能なのです。しかしながら18世紀から19世紀の産業革命以来、人間の抑制を知らない生産活動、消費活動から自然の自己修復性のバランスが崩れ自然環境は本格的に悪化し始めました。森林の過伐採による砂漠化、産業排出物、廃棄物による水の汚染、空気の汚染、今日では大気汚染が引き金になった地球温暖化、そして地球を保護しているオゾン層の破壊まで環境の悪化は進んでいます。さらに加えて日本の福島原発事故による放射能汚染の問題です。

ロータリーと環境保全

1990年に国際ロータリーは、自然環境の悪化に歯止めをかけようと「環境保全プログラム」を採択しました。このプログラムを推進したのはパウロ V.Cコスタ 1990-91年度 RI会長で、この2年後に会長の母国ブラジルで世界各国の参加した初の環境サミットが開催されました。その後、ロータリーの国際性を活かした活動が広がりました。例えば、各国のロータリアンは協力し合い世界の恵まれない地域社会での公衆衛生の基盤作りのため何千もの井戸やポンプ設置し、水道管を敷設しました。また、ローターアクター、インターアクター他、地域社会協同隊は提唱クラブと手を結び植樹や地域清掃キャンペーンを実施しています。

環境にやさしい社会の創設

環境保全に最も効果的な方策は、保全活動が継続して推進できる組織作りです。その為には運動の基点を私達が今生活しているこの地域社会に求めなければなりません。まずは、自分達のできることから取り組み、他を啓発して運動を広げてまいります。またプロジェクトの最適な協力者



をこの地域社会から見出すのも私たちの仕事です。見落としてならないのは女性の参加です。女性は水仕事、調理、家庭のゴミ処理と、仕事の大半が環境保全に関係しているにも関わらず、参加の機会が少ないのではないのでしょうか。女性たちを取り込んだ継続できる組織作りを心がけ、環境にやさしい社会の創設を目指します。

環境保全委員会活動報告

環境保全活動で成果を挙げられている会員の皆様ひとりひとりのご努力に、心からお礼申し上げますと共に、その活動を陰で支えられている地区環境委員会の木村委員長（恵比寿 RC）はじめ委員会の皆様に感謝いたします。

1. 「持続可能な人に優しい大都市環境改善」 （川は川に 空は空に 地上は緑に）プロジェクトの推進

①プロジェクト委員会は、委員会会員6名を中心に常時5〜6名の各クラブの会員を交えた勉強会を9回開催。勉強会では毎回新しいオブザーバーを迎えてプロジェクトの喧伝にも努める。2月22日に行われた地区大会の会長・幹事会にて、国土交通省より高速道路課長を招いて、30分間当プロジェクトの説明を行った。

②国土交通省、東京都にプロジェクトの重要性を訴えるため、両者を交えた勉強会を10月より月2回のペースで年7回開催。

③2012年3月5日テレビ朝日の報道ステーション。3月8日TBSのひるおびにて地下首都高事業について、岸井隆幸先生のコメントと共に放映される。4月10日より国土交通省による有識者会議が行われる予定。ロータリークラブから2名が参加。

④プロジェクト内容を専門家からの卓話として各クラブに斡旋紹介。

講師：岸井隆幸先生 日本大学教授 日本都市計画学会会長
渡邊泰彦先生 東京 RC 会員 元三菱地所専務取締役

実施：平成 23年 9月 6日 東京羽田 RC 岸井先生
10月 6日 東京中央 RC 岸井先生
12月15日 東京杉並 RC 渡邊先生
24年 2月14日 東京恵比寿 RC 岸井先生
4月25日 東京城西 RC 岸井先生(予定)

2. 2012年国際ロータリー第103回バンコック大会に出展決定

テーマ：人に優しい大都市環境改善プロジェクト

主催：第2750地区 環境保全委員会

場所：バンコック国際大会友愛広場

期間：平成 24年 5月 6日〜9日

内容：1. 地区内の環境プロジェクトの紹介

- ・雨水浸透枡普及活動
- ・緑地帯拡充のための植樹運動
- ・景観改善の為に河川浄化運動

2. 「人に優しい大都市環境改善プロジェクト」構想

3. 地区内の東日本大震災復興支援活動の紹介

広報委員会 活動通信

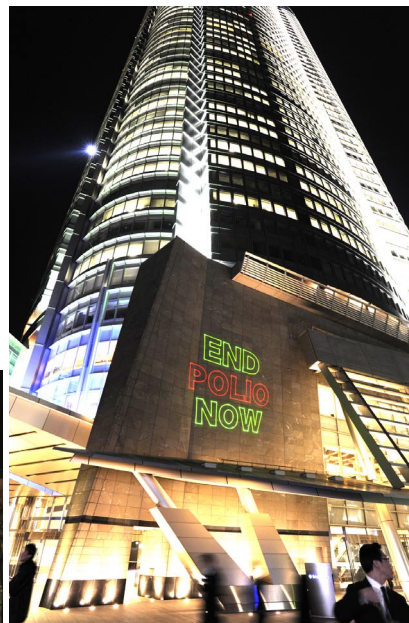
“END POLIO NOW” 点灯式への支援活動

広報委員会 委員長 岡 常吉（東京日本橋RC）

去る2月20日、六本木ヒルズ広場に於いてジャズ演奏が賑やかに行われ、立春を過ぎたとはいえ厳しい夜の寒さの中、ロータリー会員が続々と集まりコートの襟を立ててその時を待った。会員数は500名を超え、広場は埋め尽くされた。6:00PMを過ぎると壇上に片倉ガバナー、六本木ロータリー・クラブ安井会長が登場し、カウントダウンの後点灯のスイッチを入れるとレーザー光線がくっきりとヒルズの壁を照射し、赤と青の光が夜空に映え、くっきりと“END POLIO NOW”の文字が浮かび上がった。昨年の金沢城に続き日本で2番目、東京では初めての快挙となった。

この行事を挙げるに当たり、予てより片倉ガバナー直々に広報委員会で全面的支援をする様に、マスコミ、メディアには当日のTV放映を含め、協力して欲しいとの指示があった。

1月23日、芝のガバナー事務所会議室に於いて、ガバナー、服部ガバナー補佐、六本木ロータリー・クラブ安井会長をはじめ、関係者一同と広報委員会から3名が出席し、事前打合わせを行った。また、日本橋ロータリー・クラブ浅野会長がマスコミ対策に詳しく、その助言の下、2月9日、厚生労働省9階にて記者会見を行った。当日は六本木ロータリー・クラブから、安井会長、渡辺広報委員、地区広報委員会から小生と矢野副委員長の4名が、TBS、日経をはじめとした記者会見を行い、国際ロータリー活動とポリオ撲滅運動の説明をした。点灯式翌日の2月21日、NHK「おはよう日本」、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」で放映され、新聞では産経新聞、Fuji Sankei Business i.に掲載された。ご覧になった方々の感想を伺いたい。



RI2750地区 第6回東京マラソン給水ボランティア活動について

広報委員会 副委員長 矢野 正哉（東京日本橋RC）

2月26日 もう6回目となる東京マラソンが開催されました。例年通り35キロ地点佃大橋手前の10テーブル各18名を銀座・日本橋グループ9クラブと今回はロータリーアクトクラブから72名の若き参加者を交えて、給水ボランティア活動を行いました。地区広報委員会の所管事業ですので、地区ロータリーアクトクラブの集りで説明とお願いをさせて頂いたり、グループ協議会に出席してお願いしたりと準備作業に奔走致しました。そして年明け早々にアクトクラブ及び9クラブに集めて頂いた180名の名簿を作成し、後は本番への準備作業となりました。

当日は天候にも恵まれ、常連メンバーも多く、順調に作業を行うことができました。2時ごろに大集団が35キロ地点に押し寄せ、手前のテーブルの水やスポーツドリンクがなくなると次のテーブルへ殺到するという展開で、全てのボトルがなくなったテーブルが半数以上という結果となりました。アクトメンバーとロータリアンの親睦も深まり、実りあるボランティア活動となったのではないのでしょうか。

ご参加頂いた皆様はもとより、特に今回大変なご尽力を頂きました、地区アクトの古屋代表並びに銀座・日本橋グループ八代幹事、東京日本橋東RC事務局の岡田様には本当にお世話になりました。有難うございました。

米山記念奨学委員会 活動通信

米山記念奨学委員会 活動通信

米山記念奨学委員会 委員長 松本 啓祐 (東京八王子RC)

カストロの葉巻

三十年以上禁煙が続いているが、先日ドイツ人の友人がコイーバという葉巻をくれた。カストロが愛用しているというキューバのブランドだそうだ。「葉巻とはこういうものなのだ」という新しい発見があった。数十年前に買い求めた葉巻とはあまりにも違う。

米山記念奨学事業にも新しい発見がある。葉巻に比するのには響きを買うかも知れないが、奨学生やカウンセラー諸兄と接しているうちにこの事業はロータリーの新しい可能性を開くのではないか、と思うようになった。

米山奨学事業へのサポート

米山奨学事業を支えているのは一人一人のロータリアンによる寄付である。この寄付は、ロータリーが目指す方向に大きく資するものになるだろう。林達夫米山増進委員長はじめ同委員会のメンバーが中心となって会員諸兄にご寄付のお願いをしているが、目標まではかなり遠い。

2012年2月末 第2750地区 寄付金合計 57,307,850円(目標 8000万円)

新しい世代との交流の成果を享受するのは新旧両方の世代である。ロータリーの年度末に向け、一層のサポートをお願いしたい。

米山記念奨学生終了式

京王プラザホテル新宿にて2月8日、米山奨学生の期間終了式を行った。横ヶ埜俊彦選考委員長はじめ米山選考委員が中心となって準備と進行を担当。世話クラブとカウンセラーの皆様のおかげでこの日を迎えることが出来、ロータリーの新しい世代の誕生につながる場ともなった。片倉ガバナーから、奨学生へのお祝いと激励、関係各位への感謝が述べられ、式の後の懇親会は、学生とロータリアンとの楽しい語らいの場となった。

地区大会

2月23日の地区大会で、米山学友のチン トウイ フンさんが自らの体験をもとに、スピーチを行った。夜の懇親会には、東京米山友愛RCの米山学友のほかに、11名の学友と奨学生が参加し、ロータリーファミリーの集いとなった。

知っているようで知らない東京 ― はとバスツアー ―

3月3日にはとバスでの東京ツアーを実施した。ご多忙にもかかわらず佐久間ガバナーエレクトはじめロータリアン諸兄のご参加をいただき、感謝の念に堪えない。以下は辻学友委員長からのレポートである。



久しぶりの天気にも恵まれた桃の節句、3月3日。定時に総勢30名集合。ハトバスにてホテルニューオータニを出発。まずは東京タワー。見慣れた東京も高いところから眺めると格別。八芳園の梅と盆栽を愛で、国会議事堂へ行く。普段訪ねたこともない衆議院議場を見学後東京江戸博物館へ。副館長の出迎えを受け、江戸時代の着物姿と職人姿の学芸員の解説に耳をかたむけながら、江戸の往時に思いを馳せる。帰りの車中では、香り豊かなハワイのチョコレートとお茶がでて、話がはずんだ。参加者はロータリアン14名、奨学生5名、学友2名ほかであった。改めて東京を見直し、東京という共通の話題を通して親睦を深めた一日となった。(辻 厚成)



米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

米山功労者

亀岡 成幸君	東京銀座	2012.2.1	4
蔵本 健君	東京八王子西	2012.2.2	1
白柳 雅文君	東京八王子西	2012.2.2	1
関 和之君	東京八王子西	2012.2.2	1
福山 眞吾君	東京八王子西	2012.2.2	1
梅木 隆宏君	東京芝	2012.2.7	1
加藤 千博君	東京麻布	2012.2.7	1
飯田 桂子君	東京レインボー	2012.2.17	10
清水 マリ君	東京中央新	2012.2.22	1
椎津 忠三君	東京中央	2012.2.23	9
山田 悦弘君	東京銀座新	2012.2.24	6
小勝 敏克君	東京西	2012.2.27	1
入交 太三雄君	東京中央	2012.2.28	7

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝いたします

梅木 隆宏君	東京芝	2月
◎ 高須 康有君	東京赤坂	2月
◎ 伊藤 隆君	東京レインボー	2月
加納 一信君	東京中央	2月
角台 利和君	東京銀座新	2月
佐野 正篤君	東京銀座新	2月
◎ 橋本 嗣雄君	東京西南	2月
◎ 晝間 昭君	東京西南	2月
◎ 皆藤 彦善君	東京西南	2月
◎ 山本 隆幸君	東京西南	2月
神辺 和幸君	東京八王子西	2月
山口 覚君	東京八王子西	2月
◎ 森谷 晴一君	東京昭島	2月
◎ 篠塚 武雄君	東京多摩	2月

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

小山 正之君	東京新橋	2月
長谷川 浩一君	東京銀座新	2月
小笠原 長武君	東京品川中央	2月
前 國尚君	東京成城新	2月
野口 文男君	東京八王子西	2月
梅澤 武男君	東京調布むらさき	2月

先月号のベネファクターご紹介において東京世田谷南RCの金田 英一さまの漢字が「栄一」になっておりましたことお詫び申し上げます。

日本事務局 財団室よりのご伝言：

現在、ロータリー財団ではデータベースの見直しをしており、一部の寄付のデータがまだ入っていないため、今回のリストは暫定のものとなりますので、ご了承ください。

文庫通信 (294号)



「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリー創立記念日にあたって

- ◎「70周年に当り創世期のロータリーを憶う」(ロータリー入門)
平島健次郎 1975 7p
- ◎「これがロータリーだ」(私のロータリー、50年)
直木太一郎 1983 41p
- ◎「平凡で偉大なロータリー精神」
末永直行 1972 20p
- ◎「シエルドン…忘れ得ぬその名」
ジョン O. ナットソン：神崎正陳訳 1998 12p
- ◎「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」
鳴海淳郎 2000 9p
- ◎「ロータリー進化論」
前原勝樹 [1985] 19p
- ◎「ロータリーの組織と奉仕」
深川純一 2001 68p
- ◎「ロータリー廣報乃王道」
佐藤千壽 1997 34p
- ◎「米山梅吉と日本のロータリー(抄)」
長井盛至 1983 31p
- ◎「四つのクラブの七つの驚き」(お、ロータリアン)
安積得也 1977 44p

上記申込先：ロータリー文庫

◎「我が自叙伝」

ハーバート J. テーラー著：菅野多利雄訳 1990 219p

上記申込先：緑ヶ丘病院 FAX (022)365-3000

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館
午前10時～午後5時
休館
土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



徳山 勝也(東京芝RC)

2012年2月18日逝去(享年77歳)

1988年10月5日入会

2009-10年度 クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー (マルチプル)

米山功労者



奥川 吉三郎(東京西RC)

2012年3月8日逝去(享年88歳)

1979年11月30日入会

1995-96年度 クラブ会長

ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター、米山功労者マルチプル



永井 保彦(東京西RC)

2012年3月19日逝去(享年75歳)

1986年6月20日入会

2003-04年度・2011-12年度 クラブ理事

ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (2月分)★ District 2750 Membership Attendance Report February 2012

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				11年7月1日	12年2月末	増減					11年7月1日	12年2月末	増減
千代田グループ	東 京 南	3	72.02	181	183	2	多摩南グループ	東 京 八 王 子	4	92.13	54	57	3
	東 京 芝	5	88.11	92	91	-1		東 京 町 田	3	74.26	54	56	2
	東 京 新 橋	4	73.25	51	52	1		東 京 日 野	5	81.29	34	31	-3
	東 京 赤 坂	3	71.00	43	43	0		東 京 八 王 子 西	4	90.06	69	75	6
	東 京 み な と	4	82.22	46	46	0		東 京 町 田 ・ 中	4	80.22	36	35	-1
	東 京 レ イ ン ボ ー	3	72.92	32	32	0		東 京 八 王 子 東	4	94.05	20	21	1
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	3	71.90	20	20	0	東 京 八 王 子 南	5	90.17	58	60	2	
	東 京 銀 座	4	77.16	157	158	1	東京町田サルビア	4	87.78	22	21	-1	
	東 京 日 本 橋	3	77.91	175	184	9	東 京 飛 火 野	4	83.33	28	26	-2	
	東 京 築 地	4	76.79	69	69	0	東 京 町 田 東	4	73.96	25	25	0	
	東 京 日 本 橋 東	3	84.44	47	45	-2	東 京 八 王 子 北	4	77.63	37	39	2	
	東 京 中 央	4	76.70	216	214	-2	東 京 立 川	3	91.80	98	100	2	
京浜グループ	東 京 日 本 橋 西	4	92.65	41	41	0	多摩中グループ	東 京 小 金 井	4	84.99	33	33	0
	東 京 銀 座 新	4	80.88	68	69	1		東 京 国 分 寺	4	86.00	41	39	-2
	東京シティ日本橋	4	68.45	47	46	-1		東 京 三 鷹	4	76.50	37	37	0
	東 京 中 央 新	4	60.90	40	41	1		東 京 昭 島	4	69.57	46	49	3
	東 京 羽 田	4	77.89	42	41	-1		東 京 国 立	5	96.70	49	48	-1
	東 京 品 川	4	87.47	56	57	1		東京立川こぶし	4	91.37	81	79	-2
山の手東グループ	東 京 大 森	4	93.96	46	45	-1	多摩東グループ	東 京 井 の 頭	4	86.40	21	22	1
	東 京 品 川 中 央	5	75.68	55	54	-1		東 京 昭 島 中 央	5	86.00	41	43	2
	東 京 大 井	4	70.83	18	18	0		東京武蔵国分寺	3	83.00	47	49	2
	東 京 田 園 調 布	3	71.11	48	47	-1		東京小金井さくら	5	74.56	23	24	1
	東 京 港 南	4	70.59	17	18	1		東京国立白うめ	4	70.65	22	23	1
	東 京 大 崎	4	84.85	35	33	-2		東 京 府 中	5	75.34	60	60	0
	東 京 蒲 田	4	86.81	62	59	-3		東 京 調 布	4	89.10	60	62	2
	東 京 京 浜	3	78.12	21	24	3		東 京 多 摩	4	76.85	25	27	2
	東京田園調布緑	4	73.67	26	26	0		東 京 狛 江	4	87.50	29	28	-1
	東 京 マ リ ー ン	4	79.17	13	12	-1		東 京 稲 城	4	80.00	27	29	2
	東 京 白 金	4	81.30	25	28	3		東 京 武 蔵 府 中	3	85.76	53	55	2
	東 京 高 輪	2	78.26	22	23	1		東 京 た ま が わ	5	80.43	25	25	0
山の手西グループ	東 京 西	4	76.70	154	156	2	バングラディッシュ・パレスチナグループ	東京多摩グリーン	4	79.88	34	35	1
	東 京 城 西	3	74.62	73	70	-3		東京調布むらさき	4	87.15	78	81	3
	東 京 西 南	4	81.96	49	48	-1		東 京 i シ テ ィ	4	73.86	25	22	-3
	東 京 原 宿	3	78.26	23	23	0		Guam			75	73	-2
	東 京 杉 並	4	73.26	39	37	-2		Saipan			43	43	0
	東 京 神 宮	4	75.00	28	30	2		Tumon Bay			86	82	-4
山の手西グループ	東 京 恵 比 寿	4	82.40	90	96	6	千代田グループ 銀座・日本橋グループ 京 浜 グループ 山の手東グループ 山の手西グループ	Northern Guam			34	35	1
	東 京 広 尾	5	80.99	18	16	-2		Pohnpei			23	17	-6
	東 京 渋 谷	4	78.12	32	33	1		Palau			20	16	-4
	東 京 六 本 木	4	79.00	50	52	2		Guam-Sunrise			30	30	0
	東 京 世 田 谷	4	85.04	57	56	-1		Truk Lagoon			11	15	4
	東 京 目 黒	4	85.58	43	42	-1		国内84クラブ計			4,199	4,240	41
	東 京 成 城	3	67.32	21	21	0		地区92クラブ計			4,521	4,551	30
	東 京 世 田 谷 南	4	72.00	95	94	-1							
	東 京 城 南	2	69.00	31	31	0							
	東 京 山 の 手	4	83.75	61	60	-1							
	東 京 成 城 新	3	72.74	38	41	3							
	東 京 青 山	3	77.30	29	30	1							
東 京 自 由 が 丘	4	77.28	19	20	1								
東 京 世 田 谷 中 央	3	94.17	16	18	2								
東 京 米 山 友 愛	5	76.40	30	31	1								
平 均 出 席 率 79.95(PBGを除く)													

編集後記

本年度も残すところあと3カ月となりました。日頃より、会員の皆さまにはガバナー月信の編集に際しご協力頂いておりますこと感謝申し上げます。

お読みのガバナー月信は、4ページの構成で抜粋版となっておりますことをご存知でしょうか。毎号、各クラブや委員会の活動通信も満載した全ペー

ジは、地区のホームページに掲載されており、誰でも簡単に読むことができます。まだご覧になったことがない会員がいらっしゃいましたら、是非第2750地区のホームページにアクセスをお願いいたします。尚、掲載内容は本紙の1面にも掲載しております。

2011-12年度ガバナー月信・IT委員会 委員 山見 真弘 (東京中央RC)

国際ロータリー第2750地区 2011-12年 ガバナー 片倉 章雄

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2011-12 Governor Akio Katakura

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 片倉 章雄(2011-12) © Akio Katakura 2012

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 望月 耕次 副委員長 木村 清信 副委員長 河村 勝久 副委員長 竹平 時彦
Andrew WONG 田中 廣 山見 真弘 永田 有利恵 堀口 昇治 石黒 重徳 織田 ゆり子 羽田 伊助 森本 行俊 清野 修一
浅見 省三 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>